

あ　と　が　き

このところほぼ4年毎に実施されている学生生活調査は今回で22回目を迎えました。まえがきでも触れましたが、とりわけ今回は大阪大学の第1期中期計画の終了時に当たり、さらに、大阪外国語大学との統合後初めての調査でもあることから、これらが生活・勉学・研究環境にどんな影響を与えているかを知り、今後の学生支援策を実りのあるものにするための基礎情報として調査・検討を行ってきました。

調査方法については、インターネットによるウェブベース方式で行いました。以前にもこの方式で試行されましたが、回収率が悪かったことから、今回はどうなるか危惧されました。幸い13%もの学生（学部14%、大学院前期課程12%、後期課程5%）から回答が得られたのは、このようなアンケート方式に学生が慣れてきているという時代の流れのようにも思われます。また、このような非常に多くの学生からの回答を効率的に、しかも低予算で集計することができたのはこの方式ならではの思われます。

担当者の熱意により、本報告書の作成作業がほぼ予定通り完了し、この度無事発行することが出来ました。大学の改善にあたってこの調査結果が反映されることを多くの学生が期待しており（「本調査についての意見」参照）、調査だけで終わらず、大学全体で有効に活用されるように望みます。

最後に、貴重な時間を割いて本調査のためにご協力いただいた学生・院生の皆さん、および関係各位に心から感謝いたします。

平成22年10月

第22回学生生活調査専門委員会